

核兵器禁止条約 50か国批准 1月22日発効

大平さん「野党連合政権で批准を」と訴え

大平喜信前衆議院議員は10月25日、核兵器禁止条約を批准した国が50か国に達したことを受けて広島市内で宣伝、「日本共産党も加わる野党連合政権の実現で、核兵器禁止条約を批准する政府を被爆地広島から実現させよう」と訴えました。



大平さんは、2017年7月に開催され核兵器禁止条約を採択した国連会議に志位和夫委員長らとともに出席。議席を失って以降も広島の草の根の活動に参加しながら「ヒロシマの心を国会へ」と頑張ってきました。(写真は前日24日の広島での宣伝行動)

政権奪取へ 全国の小選挙区候補者会議

中国ブロックからは尾崎宏子さんが参加



21日、中央委員会が開催した衆院小選挙区候補者会議(オンライン)には中国ブロックからは尾崎宏子さん(岡山3区)が参加。尾崎さんの発言を紹介します。

コロナ問題では奥津や湯原の温泉組合長さんを初め

て訪問して懇談しました。全国旅館連盟の若い青年部長さんは「与党の先生とは話したことがあるが野党とは初めて」と歓迎してくれました。老舗旅館を経営する組合長さんは「コロナ後の社会についても考えている」と話されました。鳥取地震、消費税増税、コロナと業界と地域経済が大打撃を受けている中、党の提案を共鳴しあう点が多くありました。ためらいなく垣根を越えて飛び込んでいくことが大事だと感じました。

多くの方が菅政権の本性を早くも見抜き「政権交代しかない」との声が出されます。「総選挙で日本初の共産党参加の連合政権樹立に力を貸してほしい」と訴え抜き、大平さんの議席を何としても取り戻すため衆議院岡山3区候補者として奮闘する決意です。(要約)。